

第4学年 国語科学習指導案

児童 男子15名 女子18名 計33名
指導者 菅野洋介

1 単元名 説明のしかたについて考えよう

教材名 アップとルーズで伝える（光村下）

補助教材 「ご当地グルメ味わって」（9月4日岩手日報）

「再会 笑顔と笑顔」（8月21日岩手日報）

2 単元について

(1) 児童について

子どもたちは、各段落の役割や、段落相互の関係について考える学習は、3年生の説明文「すがたをかえる大豆」、4年生「動いて、考えて、また動く」で経験を積み重ねてきている。本単元につながる、筆者の説明の工夫について考えてまとめる学習は、主に2年「しかけカードの作り方」、3年「すがたをかえる大豆」で行い、写真も使った説明や、接続語・指示語を使うなどの説明の工夫を読み取ってきた。

4年生になってからは、「動いて、考えて、また動く」では、筆者の考えを読み取るために、事実と意見の関係をとらえて、段落相互の関係を考えながら学習した。また、文に合わせた図を用いることで、説明が分かりやすくなっていることを理解した。

本単元では、単に写真と文章の対応だけでなく、対比して述べられていることや、写真から読み取れることが文章で描写されていることなどを意識していく。段落相互の関係に意識して学習してきたが、対比的な段落を読み取るのは、本単元が初めてである。

また、段落を意識して読み取れていない児童もまだ少数見られた。そのため、新聞スクラップの記事の読み取りを通して、再度段落の構成を意識し文章全体の役割を確認してきた。

(2) 教材について

本単元は、学習指導要領第3学年及び第4学年の「C読むこと」の目標③「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」を受けて学習活動が設定されている。この目標を受け、特に読むことの指導内容である(1)イ「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見の関係を考え、文章を読むこと。」エ「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」を大切にしていく。

本教材の教材文は、わたしたちが最もよく目にしているメディアであるテレビの映像技法を中心に述べたものである。メディアを通じて受け取っている情報が、一定の価値判断・意図に基づいて取捨選択されたものであることに気付かせ、相対化する視点をもたせる。本教材は、分かりやすい説明とはどのようなものであるかを学ぶのに適した文章である。

文章の読み取り後、新聞で「アップ」、「ルーズ」の写真が使われている例を見つけ、アップかルーズか考える上での書き手の意図を考える活動がある。教材文だけでなく、実際の新聞を用いて、

課題である「説明の仕方の工夫を考える」ことを充実させていく。

(3) 指導にあたって

本単元では、写真と文章を対応させて読みながら、対比的な段落関係をつかみ、それを含んだ文章全体の構成をとらえていく。写真と対応した部分に注意して読み取り、「アップ」と「ルーズ」それぞれの特徴をまとめていく。

第一次では、教材文を読み、筆者の説明の工夫に関心をもつとともに、「上手な説明のしかたを見つけよう」という学習課題を設定して、学習計画を立てる。

第二次では、全文を読み、筆者が用いている説明の工夫についてまとめていく。段落相互の関係を考えながら読み、文章の組み立てについて考える。対比しながら述べる説明のしかたをとらえ、文章全体の構成と段落相互の関係を意識させていく。文章表現にも意識を向け、説明のしかたについて考えていく。

第三次では、新聞で「アップ」と「ルーズ」の使われ方を見付け、写真を選んだ書き手の意図を調べ、報告し合う。新聞を持ち寄り、実物で確かめながら、「アップ」と「ルーズ」の使い分けをとらえさせる。書き手の意図を読み取り、写真と対応する語や文を見付けていく。

テレビの映像だけでなく、新聞を用いることで写真と説明文の関係をより深く理解させていく。実際の新聞記者になぜその記事を選んだのかを説明してもらい、書き手の意図を知る。なぜ「アップ」なのか「ルーズ」なのか、段落相互の関係から書き手の意図を考えさせ、写真と対応する語や文を見付けていく。

3 単元の目標と単元の評価規準

観 点	単 元 の 目 標	単元の評価規準
関心・意欲・態度	○説明文の書き方に関心をもち「アップとルーズで伝える」の説明の特徴や、上手な説明の仕方を見付けようとしている。	○説明文の書き方に関心をもち、「アップとルーズで伝える」の説明の特徴や、上手な説明の仕方を見付けようとしている。
読む能力	○文章全体の構成と段落との関係を理解することができる。 ○写真と本文の対応関係を理解することができる。	○それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているのかを考えながら読み取っている。(読(1)イ) ○写真と対応した部分に注意して「アップ」と「ルーズ」それぞれの特徴を読み取り、写真と対応する新聞記事の中心となる語や文を見付け、書き手の意図を読み取っている。(読(1)イ)
言語についての知識・理解・技能	○接続表現の意味を理解することができる。	○文と文との意味のつながりに果たす接続語の役割を理解している。(伝国(1)イ(ク))

4 単元の指導計画と評価規準(全8時間)

次	時間	学習活動	観点		
			関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
第1次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習してきた説明文のしかたについて振り返る。 ・全文を読み、筆者の説明の工夫に関心をもつとともに、「上手な説明のしかたを見つけよう」という学習課題を設定して、学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文の書き方に関心をもち、進んでこれまでの学習を振り返って、「アップとルーズで伝える」の説明の特徴を見付けようとしている。 <p>[観察・発言]</p>		
第2次	2	<ul style="list-style-type: none"> ・段落相互の関係を考えながら読み、文章の組み立てについて考える。 ・写真と文章の対応を考える。 ・第3段落と第1・2段落の関係を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文から上手な説明のしかたを見付けようとしている。 <p>[観察]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真と文章を対応させる説明のしかたを読み取っている。(1)イ <p>[発言・ノート]</p>	
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・第4～6段落の関係をとらえる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・第6段落までを写真と文章を対応させて読み、説明の工夫を見付けている。(1)イ[ノート] 	
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・第7・8段落を読み、その役割について考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・第7・8段落を読み、ほかの段落との関係をとらえ、説明の工夫を見付けている。(1)イ <p>[ノート]</p>	
	5 6	<ul style="list-style-type: none"> ・全文を読み返し、段落の内容を短くまとめ、文章全体を概観する。 ・各段落の文章全体に果たす役割について考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・段落相互の関係を理解し、文章全体の構成をつかんでいる。(1)イ、エ <p>[ノート・ワークシート]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文と文との意味のつながりに果たす指示語や接続後の役割を理解している。(1)イ(ク) <p>[発言]</p>

	7	・全文を読み、筆者が用いている説明の工夫についてまとめる。		・写真と文章の対応関係や段落相互の関係を、全体構成などを改めてとらえ直し、説明の工夫について考えている。 (1) エ[ノート]	
第3次	8時	・新聞から、写真と記事に対応させ、写真を選んだ書き手の意図を読み取る。 ・学習を振り返り、まとめる。		・新聞から、写真を選んだ書き手の意図を読み取っている。 (1) イ [ワークシート]	

5 本時の指導(8/8時)

(1) 目標

新聞から、写真と記事に対応させ、書き手の意図を読み取ることができる。(読む能力)

(2) 評価の観点と具体的評価規準

評価規準	十分満足	概ね満足	指導の手立て
読む能力	新聞記事の要点を読み取り、適切な写真について考えて、書き手の意図を読み取っている。	写真と対応する記事の中心となる語や文を見つけ、書き手の意図を読み取っている。	写真から書き手の意図を想像し、関係する語や文や語を探させる。ワークシートで考えを整理しやすくする。

(3) 展開

段階	学習活動 発問及び指示(○) 児童の反応(・)	評価・留意事項 評価(※) 留意点(・)
つかむ5分	<p>1 前時の学習内容を想起する。 ○ 「アップとルーズで伝える」ではどのような説明の工夫がありましたか。 ・写真を文章でくわしく説明する。 ・2つのものを比べて違いを分かりやすくする。</p> <p>2 学習課題を把握する。 新聞の記事と写真から記者が伝えたいことを考えよう。</p>	<p>・前時で学習した、教材文「アップとルーズで伝える」での説明のしかたや説明の工夫について想起させる。</p> <p>・新聞記事を写真と対応しながら読むこと、記事を書く工夫や写真を選んだ意図</p>

	<p>3 本時の学習の流れを確認する。</p>	<p>を記者に説明してもらうこと、その後各自持ち寄った記事を使うことを確認する。</p>
<p>深める 3 5 分</p>	<p>4 新聞記事を読み、記事と写真がどのように対応しているか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「いつ」「どこで」「だれが」「何を」「なぜ」「どのように」に当たる部分に線を引きましょう。 ○ 写真とつながっている言葉、文はどこに書かれているでしょうか。 ○ 写真の子どもたちの表情はどんな表情でしょうか。 ・とてもおいしそう。 ・笑顔 ○ 本文の中に同じ言葉はないだろうか。 ・味わって。 ・すごくおいしい、おいしいもの探しにきた。 ○ 記者はなぜこの写真を選んだのだろう。 ・ご当地グルメをおいしそうに味わっている様子を伝えたかったから。 ○ 新聞記者の人に写真を選んだ理由を聞いてみましょう。 <p>5 各自持ち寄った新聞記事から写真を選んだ書き手の意図を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が見つけた記事の写真は、どんな写真でしょうか。写真、見出しとつながる語や文を見つけて考えよう。 ○ その写真で、新聞記者が伝えたかったことは何でしょうか。 ○ 自分が選んだ写真はどんな写真なのか、隣の人に報告しよう。 <p>6 写真を切り抜いた記事を読み、どんな写真を入れたいかを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事は、文章と写真が対応している、書き手の意図が分かりやすいものを選ぶ。 ・記事の内容をとらえるため、5W1Hにサイドラインを引かせる。 ・文章の中から写真と対応する言葉を見付け、サイドラインを引かせる。 ・見出し、数字など対応する言葉や文を見付ける視点をおさえる。 <p>※文章の内容をとらえ、写真と対応する語や文を見付けている。(サイドライン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記者が写真を選んだ意図を考えていく。その意図が、写真、記事、見出しと対応していることを確認する。 ・記者の伝えたいこと、写真を選んだ意図を知る。 <p>・全体で確認した読み取りの視点をもとに、中心となる語や文を見付けていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣の人と自分の選んだ記事を報告し合う。全体の場でも数人、記事を拡大し報告する。 <p>※写真と対応する新聞記事の中心となる語や文を見付け、書き手の意図を読み取っている。(ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き手が伝えたいことは何か、記事の中の語や文から考えさせる。

	<p>○ この記事には、どんな写真が入るでしょうか。</p> <p>○ 新聞記者にどのような写真を選んだのか聞いてみましょう。</p>	<p>※新聞記事の要点を読み取り、適切な写真について考えている。(ワークシート)</p> <p>・新聞記者に正解を述べてもらう。その際、写真を選んだ意図を説明してもらう。</p>
<p>ま と め る 5 分</p>	<p>7 本時の振り返り</p> <p>○ 新聞記事の写真を選ぶときはどんな意図で選んでいましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き手の思いが伝わるように写真を選んでいる。 ・写真と記事の内容と合うように。 <p>8 次の学習について</p> <p>○ 今度は自分たちで写真と対応した分かりやすい文章を書いていきましょう。</p>	<p>・本単元を振り返り、伝えたい内容をよく考えて写真を選択していること、写真に写っていることから何を伝えたいかを考えることの大切さにふれる。</p> <p>・次の単元「リーフレットをつくろう」につなげる。</p>

(4) 板書計画

